

R&B/ネオソウル

R&B/ネオソウルとは？

R&Bとは「リズム・アンド・ブルース」の略で、リズム要素の強いブルース由来のジャンルですが、実際その定義はあいまいで、今ではブラックミュージック的な歌唱法を取り入れたポピュラー音楽全般に対して使われることもしばしば。そもそもR&Bは、ブルース、ゴスペル、ジャズなど様々な黒人音楽から影響を受けているため、分類も難しいものだったりします。

今回は、クラブミュージックにおけるR&Bの代表格として「ネオソウル」を取り扱うことにします。

ネオソウルは、ブルースやソウルに、ジャズ、ファンク、ヒップ・ホップ、ハウスなどの要素が加わり発展した音楽のジャンルで、その成り立ちからもわかるように、クラブミュージックとしての特性を色濃く持つR&Bの一種です。

R&B/ネオソウルの特徴

R&B/ネオソウルは、
ブラックミュージックの中でもひとときわクールで大人な雰囲気醸し出します。
ビートそのものも落ち着いたものが多く、音色もタイトかつシックです。
賑やかなサウンドの多いエレクトリック系ビートの中でも
異質な存在といえるでしょう。

ブルース由来の独特のグルーヴ感を持ち、
とくにスネア & クラップのレイドバック感はR&Bならではのものとなっています。

- クールで落ち着いたビート
- タイトでシックな音色
- 独特のグルーヴ感

クールで落ち着いたビート

R&B/ネオソウル最大の特徴は、そのクールで落ち着いたビート。

大人の色気漂う曲調を引き立てる、
手数のないシンプルなリズムが特徴です。

タイトでシックな音色

シンプルなビートをさらに助長すべく、
R&B/ネオソウルではタイトでシックな音色が好まれます。

とくにスネアはその傾向が顕著で、
テール(余韻)の短い音色が好んで用いられます。

独特のグルーヴ感

グリッドジャストで機械的に打込むことの多い
エレクトリック系ビートの中では珍しく、
R&B/ネオソウルでは細かなタイミングのエディットが必須になります。

8分ウラ、16分ウラのスウィング感はもちろんですが、
何よりも特徴的なのが2 & 4拍目に演奏される
スネア & クラップのレイドバック感。
たっぷり目に遅らせたその独特のグルーヴは、
R&Bらしいビートを再現するために欠かせない要素です。

R&B/ネオソウルのビート

Rim&Snap

パターン①

パターン②

パターン③

パターン④

The image displays four musical patterns for R&B/Neo Soul beats, each on a five-line staff. Pattern 1 is labeled 'パターン①' and 'Rim&Snap'. Pattern 2 is labeled 'パターン②'. Pattern 3 is labeled 'パターン③'. Pattern 4 is labeled 'パターン④' and includes a '12/8' time signature and a triplet note (three eighth notes beamed together) above the staff. Each pattern consists of a series of notes and rests, with 'x' marks above the notes indicating specific rhythmic elements like rimshots or snaps.

R&B/ネオソウルの音色選び

ハウスやエレクトロのように特定のリズムマシンを想定した音作りはされません。

「タイトでシックな音色」を意識しながら、ぴったりの音色を探していきましょう。

また、先ほどご紹介したパターンのように、

シェイカーやクラベス(拍子木)などのパーカッションを用いることも多々あります。

市販のドラム音源に収録されている「R&Bキット」には、

そのようなパーカッションの音色もあらかじめ含まれていることも多いので、

それらをベースに不足分をカスタマイズして作り上げていくと良いかと思えます。

- 派手すぎない落ち着いた音色
- ハイハット&スネアはテールの短いものを
- シェイカー&クラベスなどパーカッションを含むキット

R&B/ネオソウルのベロシティ

R&B/ネオソウルのベロシティは、様々なリズムの例にもれず16ビートのベロシティの基本に則って設定すればOKです。

それ以外の特記事項はないくらい基本が重要となりますので、基本に則って調整してみてください。

R&B/ネオソウルのクオンタイズ

R&B/ネオソウルにおいては、クオンタイズに大きな特徴があります。まず、8分ウラや16分ウラには、仮にストレート系のリズムであっても軽めにスウィングを入れるようにしましょう。

この場合、スウィング値20%程度、シャッフルさせただけで60~80%ほどの強めのスウィングをかけてください。

また、このジャンル最大のポイントは、2&4拍目のスネア&クラップをしっかりとレイドバックさせることです。

このモタリ具合が、クールで落ち着いたグルーブを作り出します。グリッドジャストより20~40ティックほどレイドバックさせましょう。